



2020年7月14日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
日本通信株式会社
代表取締役社長 福田 尚久
(コード番号: 9424)
問合せ先 広報室長 堀江 祐子
電話 03-5776-1700

日本通信、24年間のMVNOの歴史上初めてとなる「合理的な携帯料金プラン」を発売へ
～ 大手携帯キャリアの半額以下で、確かな通信品質のサービスを提供 ～

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、本日、24年間のMVNOの歴史上初めてとなる「合理的な携帯料金プラン」を、『日本通信SIM』ブランドで、7月15日（水）に新発売することを決定しましたので、お知らせいたします。データ通信と音声通話の双方において、お客様にとっての「合理的な携帯料金プラン」が誕生します。



当社は、1996年の創業以来、一貫してMVNO事業モデルを提唱し、実践してまいりました。その間、2007年の総務大臣裁定により、データ通信を携帯キャリアの原価ベースで調達する途を開きました。そして先月、2020年6月30日の総務大臣裁定により、音声通話を携帯キャリアから原価ベースで調達する途を再度切り開きました。まさに当社の歴史は、MVNOの歴史そのものとも言えます。

データ通信と音声通話の両方が原価ベースで調達できるようになったことで、当社は、お客様にとって合理的な携帯料金プランの提供を実現できるようになりました。携帯キャリアの料金プランは、多くのお客様にとっては、自分の使い方に最適ではない料金プランが提供されています。具体的には、大容量データプランを契約して毎月使いきれないデータ量が余ってしまったり、データあるいは音声通話の超過料金の単価が高額だったりします。携帯キャリアの利益の源ではありますが、これはイコール、利用者が無駄な料金を支払っていることを意味します。

当社は、携帯通信は今や社会インフラであり、従って合理的な料金で利用者が使えるようにすべき、との考え方のもと、これまで一貫してMVNO事業モデルの構築、進展を進めてまいりました。そしてこの度、ようやく「合理的な携帯料金プラン」を実現できることになりました。

合理的
かけほプラン
REASONABLE PLAN

月額基本料
2,480円

通話 かけほ一だい	データ 3GB
--------------	------------

+

3GB以降は1GBあたり
250円
(おかわり課金)

新発売する「合理的な携帯料金プラン」の第1弾は、月額2,480円[税別、以下すべて税別表記]で音声通話はかけ放題、データ通信は3GB付いた『合理的かけほプラン』です。原価ベースで調達できたことにより、音声とデータのトータルで、大手携帯キャリアの半額以下の携帯料金を実現できました。また、3GB以降は1GBあたり250円で使った分だけの料金が自動適用される「おかわり課金方式」を採用。大手携帯キャリアの4分の1の料金なので、仮に月7GB使っても3,480円です。しかも、お客様ご自身で上限値の設定ができるので、自分にとって最適な容量のプランをつくりながらも、実際の支払いはデータ使用量に応じた分だけという合理的な携帯料金になっています。とくに昨今の新型コロナウイルスの影響により、毎月使うデータ量は変わります。だから1GB単位で使っただけ課金が大切なのです。

24年間のMVNOの歴史上初めてとなる、データ通信と音声通話の双方においてお客様にとっての「合理的な携帯料金プラン」は、7月15日(水)13:00より『日本通信SIM』ブランドサイト(nihontsushin.com)にて受付開始します。

合理的な携帯料金プランに関する詳細は以下をご確認ください。

『日本通信SIM』ブランドサイト：nihontsushin.com

■日本通信について

日本通信株式会社は、1996年の創業時から強い信念をもってMVNOという新たな産業を生み出してきた会社です。あらゆるものがデジタル化し通信でつながる今日において、日本通信の特許技術であるモバイル専用線は、その主要システム全てにおいて国際セキュリティ基準のPCI DSS認定を取得し、警察や銀行、クレジットカード業界などの厳しいセキュリティ要件が求められる分野で採用されています。さらに日本通信は、世界最高水準のセキュリティを確保しつつも、利便性を損なわずに本人認証と取引内容の改ざん防止を可能とし、

スマートフォンで安全・安心な金融取引を実現するフィンテックの共通プラットフォーム化も進めています。日本通信は今後も、チャレンジャーであり続け、安全なモバイル環境が、国境を越えた社会インフラになることを目指してまいります。